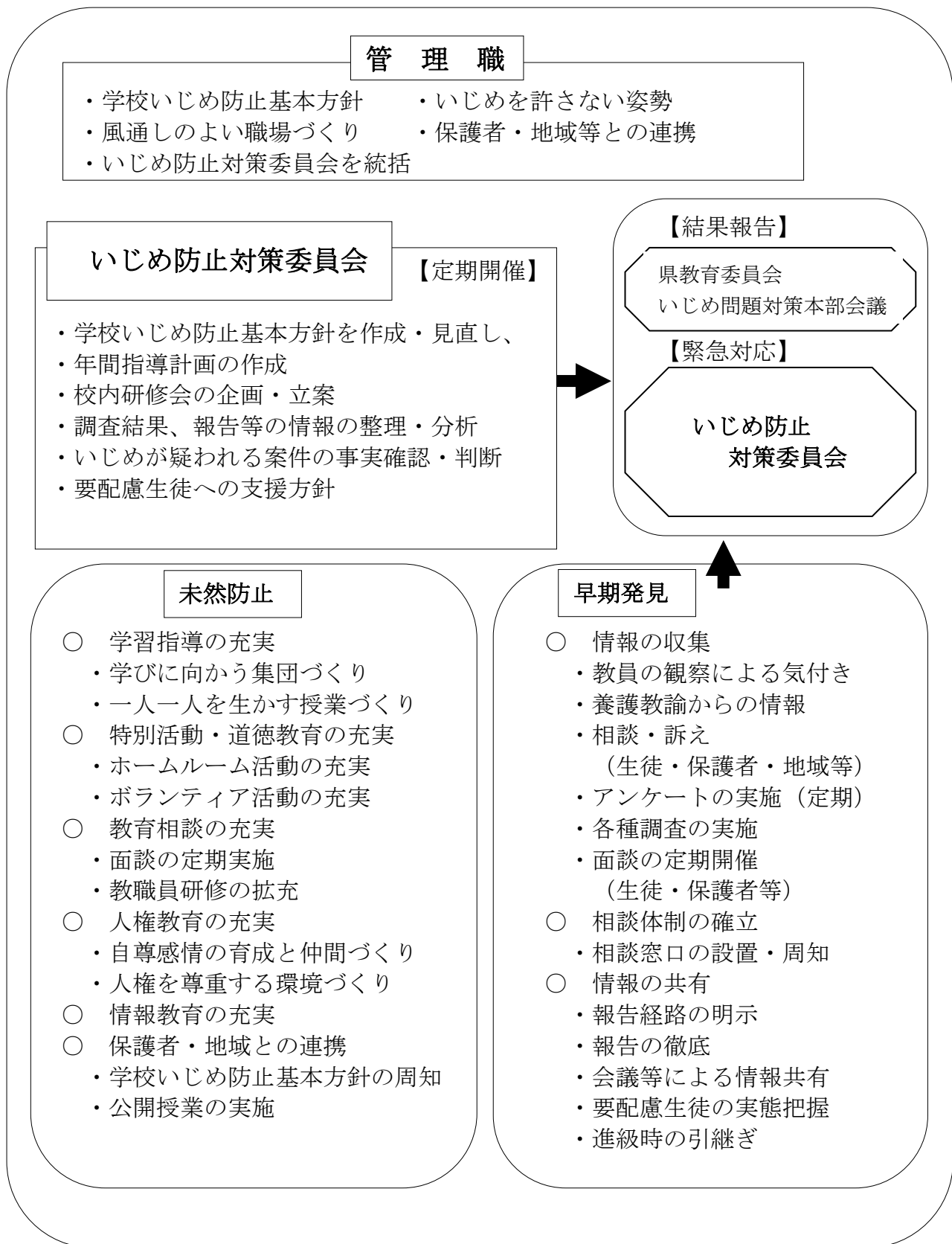
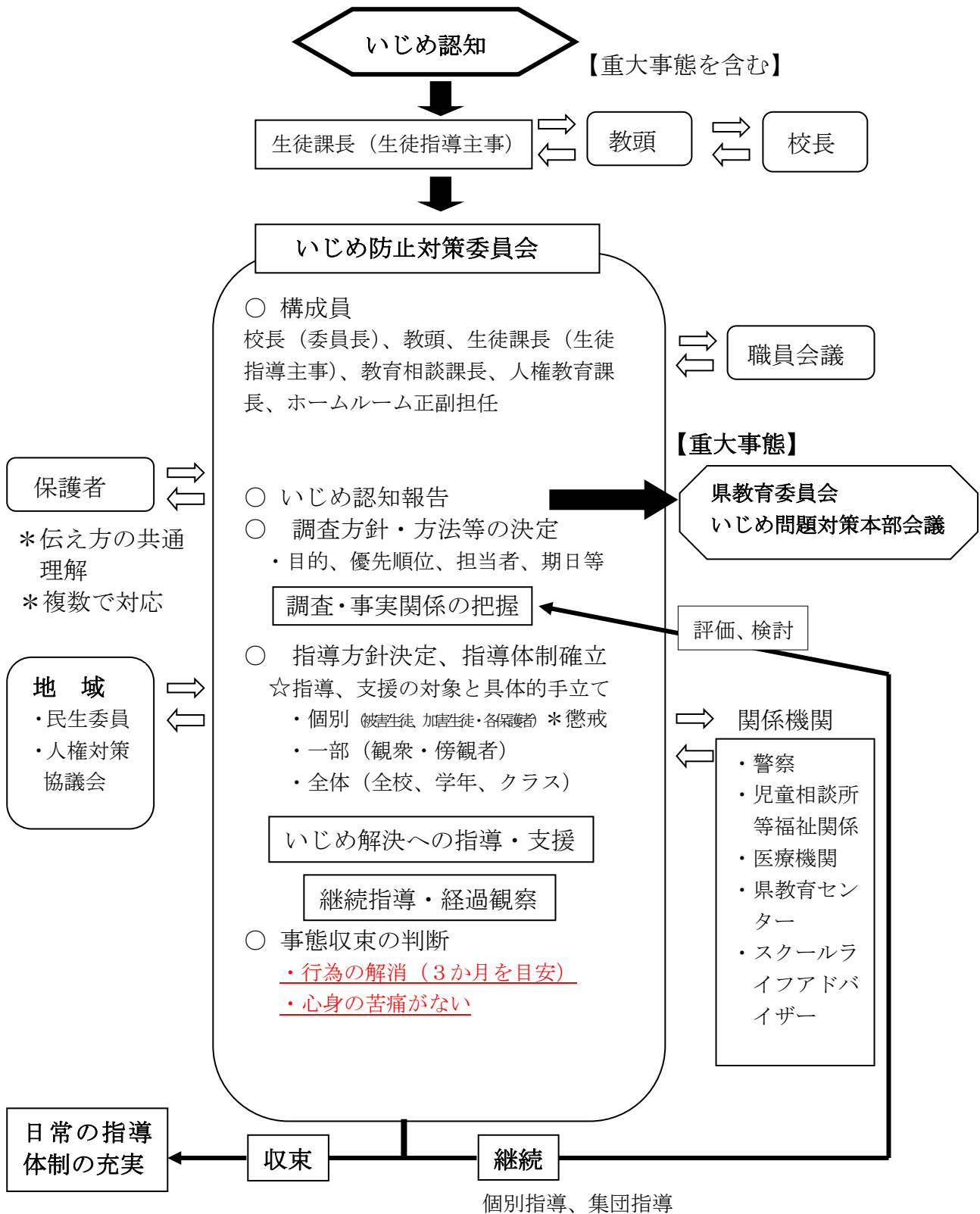


別紙1 日常の指導体制（未然防止・早期発見）



別紙2 緊急時の組織的対応 (いじめへの対応)



別紙3

1 いじめられている生徒のサイン（例）

いじめられている生徒は自分から言い出せないことが多い。だからこそ、多くの教員の目で多くの場面を観察することで、小さなサインを見逃さないようにしなければならない。大切なのは気付くことができるかどうかで、普段から生徒をよく見てしっかり関わっていることが重要になる。

場 面	サ イ ン（例）
登校時 朝のショートホームルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻欠席が増える。その理由を明確に言わない。 ・教員と視線が合わず、うつむいている。 ・体調不良を訴える。 ・提出物を忘れて、期限に遅れたりする。 ・担任が教室に入室後、遅れて入室する。
授業中	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室、トイレに行くようになる。 ・忘れ物が目立つ。 ・机の周りが乱雑になっている。 ・決められた座席と違う席に着いている。 ・教科書やノート、持ち物に汚れがある。 ・突然個人名が出される。
休み時間等	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当にいたずらをされる。 ・昼食を自分の席で食べない。 ・用のない場所にいることが多い。 ・ふざけ合っているが表情がさえない。 ・衣服が汚れていたりする。 ・一人で清掃している。
放課後等	<ul style="list-style-type: none"> ・慌てて下校する。または用もないのに学校に残る。 ・持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされる。 ・一人で部活動の準備や片付けをしている。

2 いじめている生徒のサイン

いじめている生徒がいることに気付いたら、より積極的に生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

サ イ ン
<ul style="list-style-type: none"> ・教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。 ・ある生徒にだけ周囲が異常に気を遣っている。 ・教員が近づくと、不自然に分散したりする。 ・自己中心的な行動が目立ち、ボスの存在の生徒がいる。

別紙4

1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

サイン
<ul style="list-style-type: none">・嫌なあだ名が聞こえる。・席替えなどで近くの席になることを嫌がる。・何か起こると、特定の生徒の名前が出る。・筆記用具等の貸し借りが多い。
<ul style="list-style-type: none">・壁等にいたずら、落書きがある。・机や椅子、教材等が乱雑になっている。

2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。生徒の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすくなる。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。また、こうしたサインがないか、保護者に尋ねることも必要になる。

サイン
<ul style="list-style-type: none">・学校や友人のことを話さなくなる。・友人やクラスの不平・不満を口にすることが多くなる。・朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないといたりする。・電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ったりする。・受信したメールをこそこそ見たり、電話におびえたりする。・不審な電話やメールがある。・遊ぶ友達が急に変わる。・部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。
<ul style="list-style-type: none">・理由のはっきりしない衣服の汚れがある。・理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。・登校時刻が近づくと体調不良を訴える。・食欲不振、不眠を訴える。
<ul style="list-style-type: none">・学習時間が減る。・成績が下がる。
<ul style="list-style-type: none">・持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。・自転車がよくパンクする。・家庭の品物、金銭がなくなる。・大きな額の金銭を欲しがる。